大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F115210111849	設置等組織名	工学部（技術・経営工学科）
大学名	三条市立大学	設置区分	公立		
学校種	大学	都道府県	新潟	事業計画名	既存学部の収容定員の増加

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和6年度	1-①令和６年７月　３ポリシー、カリキュラム構成等の検討（開始） 1-②令和６年７月　産業界との協議開始（随時開催、ニーズ調査含む） 1-③令和６年７月　施設、設備の検討開始 1-④令和６年８月　教員採用計画の策定（以降、採用に向けた調整、交渉、公募等の実施） 1-⑤令和６年９月　実習先企業の検討、交渉 2-①令和６年12月　新学科施設建設のための基本計画策定 1-⑧令和７年２月　選抜方法の検討 1-⑥令和７年３月　新学科の施設設計（開始） 1-⑦令和７年３月　新学科広報用WEBページ完成、新聞広告実施	1-①令和６年７月　３ポリシー、カリキュラム構成等の検討（開始） 1-②令和６年７月　産業界との協議開始（随時開催、ニーズ調査含む） 1-③令和６年７月　施設、設備の検討開始 1-④令和６年８月　教員採用計画の策定（以降、採用に向けた調整、交渉、公募等の実施） 1-⑤令和６年９月　実習先企業の検討、交渉 2-①令和６年12月　新学科施設建設のための基本計画策定 1-⑧令和７年２月　選抜方法の検討 1-⑥令和７年３月　新学科の施設設計（開始） 1-⑦令和７年３月　新学科広報用WEBページ完成、新聞広告実施	令和6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1-⑨令和７年~~4~~12月　学生確保に向けたアンケート調査の企画・実施（R8.4.2承認） 1-⑩令和７年12月　新専攻広報のための広告掲載（R8.4.2承認） 1-⑪令和８年２月　新専攻の動画・リーフレット作成（R8.4.2承認） ~~1-⑩令和７年９月　新学科広報のためのホームページ作成~~ ~~1-⑪令和７年10月　新学科の新聞・WEB広告実施~~	1-⑨令和７年12月　学生確保に向けたアンケート調査の企画・実施 1-⑩令和７年12月　新専攻広報のための広告掲載 1-⑪令和８年２月　新専攻の動画・リーフレット作成	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	1-⑫令和８年６月　新専攻広報のためのホームページ内容更新（詳細情報追加リニューアル）、新聞・WEB広告実施 1-⑬令和８年６月　新専攻広報のためのパンフレット作成 2-②令和８年８月　新専攻の施設設計完了 2-③令和８年10月　新専攻の施設建設着工		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	3-①令和９年４月以降　実施内容のフォローアップ 3-②令和９年４月以降　満足度調査（毎年実施） 3-③令和９年４月以降　企業等へのヒアリング調査 3-④令和９年５月以降　新専攻の新聞・WEB広告実施 2-④令和10年１月　新専攻の施設工事等完了 2-⑤令和10年２月　新専攻の什器、備品類調達・搬入 2-⑥令和10年２月　新専攻の施設外構工事完成		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	3-①令和10年４月以降　実施内容のフォローアップ 3-②令和10年４月以降　満足度調査（毎年実施） 3-③令和10年４月以降　企業等へのヒアリング調査 3-④令和10年５月以降　新専攻の新聞・WEB広告実施		令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	3-①令和11年４月以降　実施内容のフォローアップ 3-②令和11年４月以降　満足度調査（毎年実施） 3-③令和11年４月以降　企業等へのヒアリング調査		令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度	3-①令和12年４月以降　実施内容のフォローアップ 3-②令和12年４月以降　満足度調査（毎年実施） 3-③令和12年４月以降　企業等へのヒアリング調査		令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価：リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和８年４月　グリーン・デジタル学科（仮称）設置の届出予定		
定員減又は 学部等の廃止	令和８年４月　工学部収容定員変更の届出 令和９年４月　工学部技術・経営工学科（入学定員60人（現員より20人減）、工学関係）		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	三条市立大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	三条市立大学

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
■ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学ではすでに企業と連携した科目「産学連携実習」をカリキュラム化し取り組んでいる。具体的には、学内で学んだ知識を企業の現場での実践を通じて経験し、経験をもとに得られた課題を題材として学生同士のグループで行う課題解決型学習（PBL）科目の「プロジェクト演習」を必須科目として実践している。産学連携実習の終了後は、学生が学んだ内容をまとめ、協力いただいた企業を招待した報告会を開催するなど、地域産業界に対しても成果をオープンにし、地域企業へ成果を還元しており、産業界からは高い評価をいただいている。新たに設置するグリーン・デジタル学科（仮称）においても同様の方式による学修を計画しており、既にPBLに取り組み、実績も有していることから、スムーズに展開できると考えている。 また、本学は令和５年11月に本学と同種の教育を行っているベトナム社会主義共和国ビンロン技術師範大学と協定を締結した。今後は、当該大学との交換留学をはじめとした連携の構築を視野に入れた取組を実施してく予定である。	・産業界、教育界、学識経験者からなるアドバイザリーボードを開催し、改組構想、教育課程の概要に関して意見を聴取した。（R7.10月、R8.3月） ・デジタル分野、グリーン分野の知識・技術をものづくりに最大限活かすため、分野横断型の教育研究を展開する沖縄科学技術大学院大学を視察した。（R8.1） ・学長をトップとする教育課程検討会議を開催し、教育課程の編成を行った。（R7.6～R8.2） ・新学科の特徴の1つである「価値を生むためのデザイン思考」の推進と国際交流の進展に向けて、Nanyang Academy of Fine Arts（シンガポール共和国、R8.1月訪問）、逢甲大学、亜州大学（中華民国、R8.3月訪問）と意見交換、施設見学等を実施した。 ・XR技術を教授するにあたり必要な施設設備や環境を確認するために民間企業の事業所（東京）を訪問し、施設等見学と意見交換を行った。（R7.11） ・産学連携実習におけるデジタル系の受け入れ企業を拡大するため、東京、神奈川（横浜）にて産学連携実習連携企業募集説明会を開催した。（R7.10、R8.2）	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
多様な学生を確保していくために、選抜方式及び試験科目の見直しを進める計画にしている。具体的には、現在学校推薦型選抜と一般選抜の２種類の選抜方式で実施している選抜方式に、新たに総合型選抜の導入の検討を進めることを検討する。加えて、新たに設置するグリーン・デジタル学科（仮称）の選抜方式についても、多様な学生を確保する観点から、選抜方式の種類、試験方法等を多角的な視点で検討を行う計画である。 女子学生の理工系進学ニーズの高まりを受け、女子高校生向けにも本学の取組の魅力を広く周知することを含め、全国の高校訪問や各種説明会の開催等を積極的にに展開し、志願者増加に向けた広報の強化にも注力していく他、LGBTQにも配慮した募集も行う。 また、地域企業からニーズが寄せられているリカレント学修に対応できるよう、社会人学生の受入れの強化の検討を進めていく。 小中学生向けの体験プログラムを毎年実施しているが、小中学校からの要請に応じた出前授業等を強化することも検討する。 更に、海外大学との連携協定締結を受け、留学生の受入れ強化の検討も加速させる。 以上の取組を実施するに当たっては、フェーズ１の期間において、効果的な取組となるよう様々な情報を収集・分析するとともに、本学が求める学生像を明確にした上で、それらの人材を確保するため、学内に設置するプロジェクトチームにおいて検討を進める。	・多様な能力や個性を持った学生を確保するため、グループワークや小論文を課す総合型選抜を実施した。（R7.10） ・新潟県三条高等学校との連携協定に基づき、探究学習支援や本学での模擬授業等を実施した。（R7.4−12） ・地域の方を対象とした「デザイン教育」や「IT、AI」をテーマとしてPresidential Lecture Seriesセミナーを3回開催し、合計264人が参加した。 ・小中学生向け科学実験イベント「Science＆Technology Program for Kids 2025」を実施し、約200人（前年比172%）が参加した。（R7.7） ・新潟県内の高校1・2年生に対してデジタル・グリーン分野を拡張した学びを連想させる動画を添えたアンケート調査を実施し、ニーズ調査や改組内容のPRを行った。（R8.2-3） ・リ・スキリングに関する燕三条地区の産業界のニーズを調査した。（R8.2）その結果を受けて、データサイエンス領域も教授する教育プログラムを策定し、産学連携リ・スキリングエコシステム構築事業へ申請した。（R8.3） ・令和7年度に連携協定を締結したエストニア芸術アカデミー（EKA）主催のサマースクール（R7.8）に本学学生が参加するとともに、EKAの教員2人と学生10人が本学が立地する燕三条でフィールドトリップ（R8.3）に参加した。	

大学名	三条市立大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	既存学部の収容定員の増加
学部学科名	工学部技術・経営工学科（工学関係）

					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
		年度																					
		改組状況			選定																		
大区分	小区分	項目		単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員		人	80	80	80																
		編入学定員		人	-	-	-																
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員		人	80	80	80																
		入学者数		人	93	94	80																
			女子学生数	人	9	7	11																
			社会人学生数	人	0	0	0																
			留学生数	人	0	0	0																
	その他の学期	入学定員		人	-	-	-																
		入学者数		人	-	-	-																
			女子学生数	人	-	-	-																
			社会人学生数	人	-	-	-																
			留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)		人	80	80	80																
		入学者数(B)		人	93	94	80																
			女子学生数	人	9	7	11																
			社会人学生数	人	0	0	0																
			留学生数	人	0	0	0																
		入学定員充足率（B/A）		倍	1.16	1.18	1.00																
	収容定員等	収容定員(C)		人	320	320	320																
			編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)		人	333	351	361																
			編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）		倍	1.04	1.10	1.13																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数		人	70	67	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数		人	20	21	23																
		授業科目の単位数		単位	78	70	103																

大学名	三条市立大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	80	80	80																
		入学者数	人	93	94	80																
		女子学生数	人	9	7	11																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	0																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
		女子学生数	人	-	-	-																
		社会人学生数	人	-	-	-																
		留学生数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	80	80	80																
		入学者数(B)	人	93	94	80																
		女子学生数	人	9	7	11																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	0	0																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.16	1.18	1.00																
	収容定員等	収容定員(C)	人	320	320	320																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	333	351	361																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.04	1.10	1.13																
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	70	67																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	20	21	23																
		授業科目の単位数	単位	78	70	103																

大学名	三条市立大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	80	80	80																
		入学者数	人	93	94	80																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	80	80	80																
		入学者数(B)	人	93	94	80																
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.16	1.18	1.00																
	収容定員等	収容定員(C)	人	320	320	320																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	333	351	361																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.04	1.10	1.13																

４.外部資金の状況（全学）

年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況				申請－３年	申請－２年	申請－１年	選定													
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円			28,156	42,859	44,598	56,698	84,975												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額	千円	38,538
本事業による助成金の額(F)	千円	165,488
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	42,675

特記事項